

新冠にまつわるお話しを集めた 新冠百話

第七十七話

「トド岩と祭り(伝説と歴史)」
(要約文)

新冠の海岸に、かつてトドが住んでいた岩があり、これをトド岩と呼んでいる。このトド岩のことを、アイヌ語では「ラオマプ」と言っていた。ラオマプは「つまり岩」という意味がある。これは、岩が海水で見え隠れしてうまつている岩のように見えることからそう呼ばれていた。

お盆や祝いのとき、舟に男や女が乗ってその岩に行くことがある。エカシ(アイヌ民族の長老)は、イナウという木で削ったものを神様に捧げ、私たちはシントコ(樽)の蓋をたたきながら、丸い輪になって歌ったり踊ったりしていた。「ホロンケー、ホロンケー」と言葉が発して歌うのだ。

ある日のこと、このラオマプで踊っているうちに舟が波で流されいった。すると、二人の姉妹が岩にとり残されてしまった。一人の娘は裸になって一生懸命泳いだので、なんとか岸まで着いて助かることができた。
ところがもう一人の娘は、神様に裸

を見せては申し訳ないということ、

モウルという肌着を着たまま海に飛び込んで泳ぎはじめた。けれども、服を着ていたせいで泳ぎづらくなり、途中で息が切れて溺れてしまったのだ。だから、いくら神様に申し訳ないと思っても、生きるか死ぬかということ一番のときは、裸になって助からなくてはならないという話なのだ。

このラオマプには、トドがたくさん来ていた。だけど、爆弾を落とすようにじめたものだから、それ以来トドは一匹もいなくなってしまった。

トドは「エタスベ」とアイヌ語で呼んでいたけど、今は千島列島の方にいるそうだ。



大狩部の御野立所公園には、トド岩と姉妹の伝説を紹介する看板を掲げている。ここからは、トド岩の様子を眺めることができる。

春の全国交通安全運動(4月6日~15日)

が実施中です!

- こどもをはじめとする歩行者が安全に通行できる道路交通環境の確立と正しい横断方法の実践
- 歩行者優先意識の徹底とながら運転等の根絶やシートベルト・チャイルドシートの適切な使用の促進
- 自転車利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守

静内警察署

火災・救急出動状況 () かつこ内は前年同期

区分	火災件数	救急件数	災害出動件数
3月	0件(1件)	24件(24件)	0件(2件)
7年1~3月	1件(1件)	82件(76件)	2件(5件)

交通事故発生状況 () かつこ内は前年同期

区分	発生件数	死者	傷者
3月	0件(0件)	0人(0人)	0人(0人)
7年1~3月	1件(0件)	0人(0人)	1人(0人)

人のうごき

(令和7年3月末現在)

人口	4,966人	(前月比 △31人)
男	2,493人	(前月比 △13人)
女	2,473人	(前月比 △18人)
世帯	2,802世帯	(前月比 +7世帯)

戸籍の窓

2月21日~3月20日までの届出分(敬称略)

●お誕生おめでとうございます

戸田 颯柊(裕士 実穂) 美 宇

●おくやみ申し上げます

上田ミエ子 89歳 本 町

能登婦美子 76歳 東 町

東 日出夫 86歳 北星町

☆広報に掲載してほしくない方は届出のとき、町民生活課町民生活グループ住民係へお申し出ください。

●お問い合わせ先

町民生活課町民生活グループ住民係

☎ 0146・47・2112

町公式ホームページ

町公式フェイスブック

